

# エンカウンター（ENCOUNTER）

## 第 2 号

平成 14 年 6 月 24 日

小西芳之助「主の御名を呼ぶ」より（3）

### 真似することと復活

再び、私は言う、「キリスト教を学ぶは、日本人が英語を学ぶが如し」と。キリスト教を学ぶには、教師の真似をしなければならない。丁度、英会話を学ぶにも教師の真似をしなくてはならないのと同じである。

思いにも、行いにも、出来るだけ聖パウロの真似をしようではないか。真似をしてこそ、はじめてわれらの復活の真実なることを明らかに知るであろう。

人間は、なんと祝福されたる存在であろうか。なぜなら、思いも、行いも、ある程度聖パウロの真似ができるから。

（昭和 37 年 4 月）

## 聞くことより生きることへ

我らは、聖日ごとにキリストの福音を聞いている。しかし、われらのすべては、それを平日に生かしているとは限らない。それを聞くことは大切だが、それを生くることはもっと大切である。

実行することなしに、ただ、聞くだけでは、しばしば我らを傲慢にする。これが、大部分のクリスチャンの傲慢である所以である。

もし、それを生きないのなら、聞くことを辞めようではないか、謙遜になるために。謙遜であることは、ただ知識だけあって、傲慢であるよりも良いからである。

(昭和37年10月)

## 我が主イエスよ！

早朝に夢を見た。昨年結婚した私の娘のスワ子が、「お父さん」と言った夢である。その時、私は、娘の幸せのためには、何でもできることをしてやりたいと、そう思った。

しからば、われらが、「我が主イエスよ」と言って、イエスの名を呼べば、我々がどんな状態にあろうとも、イエスは確かに助けに来てくださるに違いない。

(昭和38年12月6日)

## キリスト教の祖師（元祖）パウロ

祖師（または元祖）とは、土台を据えた人である。

コリント前書 3 章 1 2 節に、「神から給わった恵みによって、わたしは、熟練した建築師のように、土台をすえた。そして他の人がその上に家を建てるのである」とある。

多くのキリスト教の指導者は言う、「キリストは教会の土台である」と。それは間違いない。しかし、パウロ以外の誰が「私が土台を据えた」と言い得るか。神の恵みにより、彼はキリストを発見し、人に教えた。彼は最初のキリスト信徒である。

キリストは土台である。故に、パウロはキリスト教の祖師である。我らは、キリストを真似することができるようになるためには、先ず、パウロを真似しなければならない。

（昭和 3 8 年 6 月）

## クリスチャンと未信者とのちがい

クリスチャンは、最善なるものを未来に望み、未信者は、これを現世に望む。

クリスチャンの仕事は、死後に始まり、未信者の仕事は、死とともに終わる。

彼らのこの違いは、彼らの生きている生命の差異から来る。信者は、永遠の生命を生きているし、未信者は、この世だけの生命を生きているから。

(昭和39年4月)

## 誰が最も幸せであるか

この人生において、最も大切なものを知り、かつ、それを持っている人は、幸いなるかな。学問のある人は、しばしばそのものを知らない。よし、知っていても、持つことができない。

しかし一方、学問もなく、平凡な人で、それを知り、イエス・キリストの恵みによってそれを持っている人がいる。この平凡な人が、最も幸せな人と、私は考える。その訳は、他の人よりももっと多くの人々によい感化を与えることができるから。

思うに、イエスが12人の弟子を無学の凡人の中から選ばれたのは、これによるのであろう。

私は、神がイエス・キリストを通して下さる永遠の生命について賢くありたい。他のことについては賢くなくとも。

(昭和39年6月)